



P134~136にある年表に、越谷市の年表やあかりの
うつりかわりなどがくわしくのっているよ。

90年前の人のくらし



60年前の人のくらし



	100年前 (大正10年ごろ)	70年前 (昭和25年ごろ)	50年前	40年前 (昭和55年ごろ)	(平成)	(令和)
料理	かまど 火を自分でおこして、 まきをくべて使う。 	ガスコンロ 手前にあるコックを ひら開き、マッチで火をつ ける。 		ガステーブル マッチを使わずに、 火をつけることがで きてべんり。 	IH電気台 ボタンをおし、電気 であたたかくなる。 	
せんたく		せんたく板 みぞにこすりつけて、 よごれを落とす。 	せんたくき 電気式。せんたくが 終わると、横のロー ラーでしばってほす。 	かんそうきつきせんたくき スイッチをおすだけ で、せんたくからかん そうまでできる。 		
できごと	<ul style="list-style-type: none"> 東武鉄道が開通した。 越ヶ谷、大沢に電線が通った。 関東大震災があった。 ラジオ放送が始まった。 戦争があった。 二町八か村が合併して、越谷町になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 国道四号バイパスができた。 越谷町が越谷市になった。 今の場所が役所になった。 武蔵野線が開通し、南越谷駅ができた。 市立図書館ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術博覧会「ミラクル」ができた。 越谷市が市になった。六十一年がたった。 新しい市役所のたて物ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちは今、小学3年生 		

調べる

くらしの中の道具は、
どのようにかわってきた
のでしょうか。

道具とくらしのうつりかわり

こうすけさんたちは、昔のくらしをしょうかいしている「大間野町旧中村家住宅」
に行ってみました。



「知らない道具がたくさんあるよ。
どのように使われていたのかな。」

大間野町旧中村家住宅たくの人の話

昔のせんたくは、せんたく板を使い、手
であらいでしました。すわりながらせんたく
するので、こしがいたくなつたそうです。せん
たく板は、みぞにせつけんの
あわがたまつて、よごれがよく
落ちるようにくふうされて
いるんですよ。



越谷市にのこる古く
からのみん家に行って、
昔のくらしについて調
べよう。

道具年表をつくり、
わかったことや考えた
ことを話し合おう。

せんたくきの他に、
どのような道具が
かわってきたのかな。

こうすけさんたちは、くらしに使う道具がどのようにかわっ
てきたのかを調べ、古いじゅんにならべて年表をつくりました。



「同じ役わりをする道具をならべると、昔と今のちがい
がわかるね。」



「使われなくなった道具があるね。昔の人のちえやど力
のおかげで、くらしがべんりになってきたことがわかつ
たよ。」



「道具の他にも、古いものを調べてみると、市のうつり
かわりがもっとわかるのではないかな。」

年表をつくる・道具年表のつくり方

- 一番上に横じくをつくり、左から右に古いじゅんにならべ、右のはしを今にする。
- 元号を使って、何年ごろかをかきこむ。
- 年表に調べた道具の絵や写真をはって、くらしの様子かわかる文を書く。調べた時のメモをはってもよい。



	70～60年前	50～40年前	今
駅前の様子	高いたて物が少ない。	にぎやかになった。(30年前)	高いたて物がふえた。
交通	東武線が日比谷線に乗り入れる。	武蔵野線ができた。 国道4号にバイパスができた。	越谷レイクタウン駅ができた。
土地の使われ方	田や畑が多かった。	住たく・お店が広がった。	もっと住たくが広がり、マンションもできた。
人口	人口が5万人をこえた。	人口がとてもふえ、20万人をこえた。	人口が30万人をこえた。 お年よりの数がふえた。 外国の人がたくさん住むようになった。
公共しせつ	昔の市役所ができた。	学校がふえた。 図書館などの公共しせつができた。	城ノ上小学校ができた。 保健所ができた。
くらしの道具	かんたんな道具や手づくりのものが多い。	電気を使ったものがふえた。	べんりな道具がふえた。
わかったこと ・ 気がついたこと	<ul style="list-style-type: none"> 2町6か村がいっしょになって今の越谷市のもとができた。 東武線が日比谷線に乗り入れ、べんりになった。 田や畑が多く、生活に使われる道具もかんたんなものが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> それまで田や畑だったところに住たくができ、人口がふえて市が発展した。 国道4号バイパスや武蔵野線、公共しせつがつくれ、新しいくらしの道具も使われるようになり、くらしがべんりになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 越谷駅前には、大きなマンションがたった。 レイクタウン駅ができて、大きなお店がたくさんできた。 人口がふえている。

まとめる

市のうつりかわりを年表にまとめてみましょう。

学習問題

わたしたちの市は、いつごろ、どのようにかわってきたのでしょうか。

まとめの活動に、ことばを生かそう。

市のうつりかわりをまとめてみよう

こうすけさんたちは、市のうつりかわりについて調べた年表を整理して、一つにまとめました。



「人口がふえたことで、学校の数もふえていったんだね。」

市のうつりかわりについてつくった年表をつながげながらまとめよう。

年表を見てわかったことや考えたことを話し合おう。



「一つにまとめたことで、それぞれのこうもくにつながりがあることがわかったよ。」



「これからの市はどのようにかわっていくのかな。」



越谷市のたんじょう (昭和33年)



県内二番目の中かく市へ (平成27年)

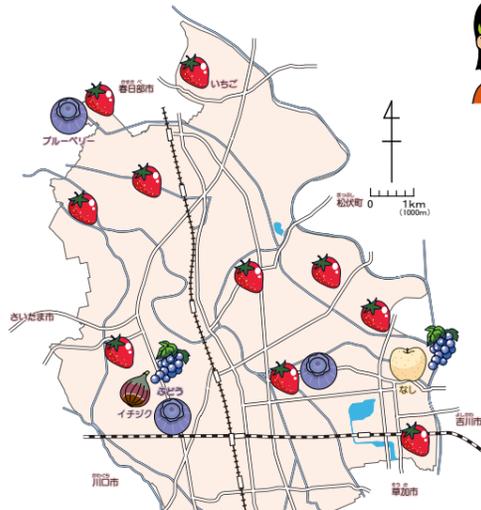


いかす

わたしたちの市のこれからについて考えましょう。

これからの市がどのようになってほしいか話し合い、キャッチコピーをつくらう。

市の取り組みを広報誌などで調べよう。



越谷市 観光農園マップ

市のはってんのために

こうすけさんたちは、越谷市のこれからのためにどのような取り組みが行われているのか、市のホームページや広報誌などを見て話し合いました。



「20年後の未来に向けて、越谷市都市計画マスタープランをつくっているそうだよ。」

「市がよりよく住みやすいまちになるように、計画をしているんだって。」

「どんな内よりの計画が行われているのかな。」

「多くの人に越谷市のみりよくを知ってもらうための活動もしていて、いちごの観光農園に力を入れているそうだよ。」

こうすけさんたちは、観光農園の人にお話を聞きました。

観光農園の人の話

農業技術センターは、越谷市の農業をさかんにすることを目的につくられたしせつです。いちごやメロンの栽培試験を行っています。わたしは、農業技術センターと協力して、いちごをさいばいしたり、いちごを使った新しい商品をつくったりなど、いちごがみんなにとって身近になるように努力しています。市内にはたくさんのいちごの観光農園があります。おいしいいちごをぜひ、食べに来てください。



越谷市農業技術センター



こうすけさんたちは、学習したことをふり返りながら、市がこれからどのようになってほしいか話し合いました。そして、話し合ったことをたくさんの人につたえるために、「みらいの越谷市」のキャッチコピーをつくることにしました。



市制施行60周年記念式典 (平成30年)

子どももお年よりもみんなが楽しくらせるまちにしたいな。



体の不自由な人や外国から来た人がくらしやすいまちにしたいな。



他のまちに短い時間で行き来できる、べんりなまちにしたいな。



越谷市のよいところをしょうかいして、たくさんの人が来るまちにしたいな。



こうすけさんたちがつくったキャッチコピー



越谷市には、観光農園があります。また、古い建物もあります。イタタウンという、買い物ができる場所もあります。越谷には、とてもたくさんの楽しい場所があります。もっとたくさんの方が集まるようになります。わたしも、友だちに越谷のいいところをつたえます。



越谷市は、今、34万人の人が住んでいます。そして、外国人も6500人も人が住んでいます。お年よりも増えてきました。これからも全ての人がかたがた楽しくらしていかれたらいいと思います。ぼくも、みんなとかがよくなります。